

# もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

## 平成 27 年度定期総会

5 月 23 日 (土) 開催

場所: ホテルチューリッヒ東方 2001

平成 27 年度定期総会が 5 月 23 日 (土) 午後 3 時 30 分から「ホテルチューリッヒ東方 2001」で開催される。議題は次のとおりである。

多数ご出席ください。

議題

- 1、平成 26 年度事業報告
- 2、平成 26 年度決算報告・監査報告
- 3、役員改選
- 4、平成 27 年度事業計画
- 5、平成 27 年度予算案
- 6、その他

## UAAA 山岳平和祭から

2014・11・23 アステールプラザ

## 研修会報告

安全に、一歩ずつ前に

瀧根正幹

1 月 17-18 と開催された広島県山岳連盟・雪上研修会に特別講師として参加させていただいた。

全国どこでも、こうした研修会や講習会が受益者負担で開催されるようになって久しいが、広島もその点で主催者としてのご苦労が見える研修会だった。会場である三瓶山は、大山でやりたいがかさむ宿泊費を抑えるため、代替え場所として使い始めたと聞いた。実際設備の整った 10 人用ケビンが 1.5 万円くらいだから、それは安い。特に初級の人が快適に冬山を楽しむためにはもってこいだろう。以前は山頂で雪洞を掘ってなんて時もあったらしいが、一般社団法人となった今では環境問題を含め、周りの目も気にしなければいけない。だんだん窮屈になってくるのはどこも同じだ。(次頁へ)



案内して下さった堀内さんによると例年はもっと雪が多いらしい。三瓶自然館までの道路にはほとんど雪がなかった。現場の状況もつかめないまま出かけたわけだが、要項によると初級と中級に分けるということだった。大まかに今回の獲得目標を二つ考えていた。初級に関しては「自分でできる、できた」という喜びを持っていただくこと。「もっと遊んでいいんだ」と思っていていただくこと。中級コースでは「リーダーシップ」というものを考えていただくこと、「主体的に山に関わる」ということを考えていただくこと。これは「楽しい」ことこそ全ての出発点だということ。そして主体性こそ進化の根源であるという思いから来ている。それは前段の机上講習でお伝えしようとしたエキスでもあるが、少しは皆さんに理解していただけたらどうか。

ただ、一番大事だとも言える指導員との意思一致や、実技内容に関しての打ち合わせができていないわけではない。要所要所で全体をまとめて、という本当に大まかな展望しか持ち合わせていなかった。その意味で広島岳連のベテラン指導員のみなさんにおんぶに抱っここの研修会ではあったが、お陰様で雪が少ない状況の中で何がやれるか、どうリカバリーできるのかという点ではうまく行ったのではないだろうか。

初日は中級に関わったので、二日目は初級に張り付いた。途中で合流するつもりだったがそれができず、合同でやろうと思っていたことができずに残念だった。でも中級では危急時対策としてビヴァーク訓練までやったそうなので、岡谷さんをお願いして良かったと思っている。ビヴァークをためらわずにできれば、命を簡単に落とすことはない。やり方や工夫することに慣れて防御能力を高めていただきたい。人間は弱くても、命は意外と強い。

さて参加された皆さんには、くどいようだが安全なところでは食欲に遊び、技術のヒントを掴んでいただきたいと思う。間違いなく、遊びの中に技術の本質が隠れているはず。そして一つひとつ自信を持つことが大事なことだと思う。それだけでなく、安全を創れる仲間と一緒に一歩前の冒険に飛び込んでみよう。見えなかったものが見えてくるはず。問われる登山に関わ

らなければ技術は身に付かないもの、「一歩ずつ」の一歩を踏み出すのはあくまであなた自身です。

今回広島の皆さんには本当にお世話になった。研修会には出席いただけなかったが、坂本さんにも大変お世話になりました。皆さんありがとうございました。そして、今回の研修会に私が参加させていただきかけとなった故・名越さんにも感謝を申し上げたいと思います。

皆さん、またお会いする日までお元気で！

### 技術研修についてお願い

## 遭難事故の減少を

広島県山岳連盟 指導部担当・副会長

岡谷 良信

私は長年に渡りこの研修会に係わらせて頂いた。

登山装備の著しい開発それに合わせて登山技術の変化、情報入手の手軽さ、ツアー（ガイド）登山の普及で自己のレベル以上の登山が出来る事で自身のレベルの錯覚による登山が行なわれているように思われてならない。

近年は皆さんもご承知の通り、異常気象の続発それに伴い身近な処で起きている遭難事故の事実、「広島山岳会」を初め「福山山岳会」「三次」未加盟登山者、近郊では、白木山での死亡と、痛ましい遭難事故、もう少し登山技術があれば・・・知恵が有ったらと悔やまれる事故も多い。

我々もこの事を危惧しながら、遭難事故の減少を図りたい思いで毎年、実施をさせて頂いている。今回はマンネリ化を防ぐ為に部外者の講師をお願いし受講者の意識の変化を求めて実施させて頂いた。お蔭さまで多く人に参加頂いた、皆さんのお役に立つ研修会になっただろうか。

平成 25 年山岳遭難事故（警視庁生活安全区地域課）発生件数 2172 件（前年対比 184 件増）遭難者数 2714 人（前年対比 248 人増）死者 320 人（前年対比 248 人増）と毎年約 1 割増が現実である事を各自が認識する事と、事故に学ぶことの大切さ。（次頁へ）

しかし現状を考えて見ると参加者の片寄り、指導部の思いと、現実にはかなりの開きを感じている。加盟団体の高齢か、クラブ加入者の減少と大きな悩みを抱えていらっしゃることも事実です。

### あなたの技術、大丈夫？

もう研修会で身に付けるほどの事はしない「必要無い」「自分は事故に遭う様な事はせん・・・」「岳連指導部の知識ぐらい、長いことやっとなし、インターネットですぐ解るは・・・」などの気持ちがあるのか、本来研修頂きたい方の出席が少ないのが現実です。

ガイド登山形式の登山団体の増、インターネット情報による登山の軽視が、多くの遭難事故の引き金に成っている現実を理解する謙虚さを持ち、自分も何時遭遇するかもしれない・・・、危険予知能力を磨く大遭難者を出さない、出させない・・・

我々指導部も微力ながら、こんな気持ちで出来る限り、日本山岳協会と共に、個々の指導内容を改め、国内を代表される方々の検討で統一された技術を提供し悲しい遭難事故の低減を図りたい思いで努力致しています。決して他人事ではないはず。

指導員及び各団体のリーダーの方、今一度、現状を振り返りながら、貴会で、最善の提案が有れば、検証し切磋琢磨しながら、より安全な登山技術を西の国から風を吹かせられたら幸いです。

又、広島からは遭難者を出さない県を目指し行動しましょう。

いろいろ生意気を申し上げました事お許し下さい。

### 平成 27 年度事業予定 (案) 27・5

- 9 (日) ～10 (日) スカイランリハーサル
- 10 (日) 第 2 回クライミングスクール  
(天応烏帽子岩山)
- 10 (日) 岳連例会山行鎌倉寺山 (安佐北区)
- 13 (水) 第 2 回運営委員会
- 16 (土) ～17 (日) 第 23 回比婆山国際スカイラン  
(第 48 回登山フェスティバル)
- 16 (土) ～17 (日) ボルタリング日本ユース選手権  
(鳥取・倉吉)

- 20 (日) 第 2 回理事会
- 20 (日) ビギナーズレッスン (県立体育館)
- 23 (土) 平成 23 年度定期総会
- 27 (水) スカイラン反省会
- 30 (土) 第 1 期キッズクライミングスクール開会式  
(県立体育館)
- 31 (日) 岳連例会山行 八世以山 (安芸区)

### 山の風景 51

伊良谷山 庄原市西城町 2015・2・14

写真提供 森 智昭 (ひこばえ)



### 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想・写真など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書を提出ください。随時掲載いたします。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美